

■路線バス（阪急バス）社会実験路線の路線ごとの評価基準について

※社会実験運行の経過期間・時点に応じて評価基準や評価の流れが異なりますので、詳しくは「[社会実験路線の評価基準及び評価の流れ](#)」をご覧ください。

路線名	早急に路線の見直しを検討	運行頻度の減便を検討	社会実験を継続	本格運行へ移行	サービスレベルの向上を検討
如意谷線	約5.1人/便未満	約5.1～6.8人/便未満	約6.8～8.5人/便未満	約8.5人/便以上	約17.1人/便以上
箕面山麓線	約14.2人/便未満	約14.2～18.9人/便未満	約18.9～23.7人/便未満	約23.7人/便以上	約47.4人/便以上
小野原東線 (箕面船場阪大前経由)	約10.6人/便未満	約10.6～14.1人/便未満	約14.1～17.7人/便未満	約17.7人/便以上	約35.4人/便以上
箕面小野原線	約19.2人/便未満	約19.2～25.6人/便未満	約25.6～32.0人/便未満	約32.0人/便以上	約64.0人/便以上
箕面中央線 (新稲系統)	約15.5人/便未満	約15.5～20.7人/便未満	約20.7～25.8人/便未満	約25.8人/便以上	約51.7人/便以上